

ハナビラタケ栽培プラントの完成について

当社は、生活健康事業を成長事業のひとつとして主要ドメインに位置づけ、研究・開発に取り組んでいます。昨年12月、機能性キノコとして注目されるハナビラタケ（ハナビラタケ科・*Sparassis crispa*）の生産・販売についての事業化を決定し、本年2月より豊橋事業所（愛知県豊橋市）に栽培プラントの建設に着手してまいりましたが、この程完成しましたのでお知らせします。

事業化の経緯

当社は、抗がん活性が強い - 1,3D - グルカン（グルカンはグルコースが集まったポリマー、多糖類）を豊富に含有するハナビラタケについて、大阪大学、岩手医科大学との共同研究の結果、マウス実験において、Th1細胞を活性化し細胞傷害性反応やマクロファージの活性化を誘導する一方で、Th2細胞を抑制しIgEの発生を抑制しアトピー症状を軽減するという免疫調整作用を確認しました。

ハナビラタケには、アガリクス茸の3~4倍のグルカン（乾燥100g中43.4g、43.4%）を含有することが確認されておりますが、その栽培は困難なものとされてきました。

本来、ハナビラタケは標高1千メートル以上のカラマツなどの針葉樹に特異的に発生する茸で、キノコ愛好家でさえ目に触れにくくその希少性から幻のキノコといわれてきましたが、独自に栽培法を確立し量産が可能と判断できるに至りましたので、生産の事業化を決定いたしました。

栽培プラントの建設にあたっては、数ある候補地の中から、コスト・物流・将来性などを検討した結果、豊橋事業所内に決定し第1期プラントの建設に着手、5月に竣工し生産をスタートさせました。

4月には、ハナビラタケを原料とした、顆粒状健康食品「白幻鳳凰」(ビヤッケンゆめ)を先行発売し好評を得ておりますが、本栽培プラントの完成により、9月初旬には本格出荷が可能となります。

健康食品として、より多くのお客様にお届けできる体勢となる他、製品の商品バリエーションも順次増やす予定です。また、ハナビラタケの生鮮食材につきましても、大手ホテル・レストランや、一般食材店にも販売を拡大する予定です。

・ハナビラタケの特長

- ・学名 *Sparassis crispa* ヨーロッパではカリフラワー・マッシュルームと呼ばれている
- ・白色～黄淡色のキノコで、直径 20～40cm の葉ボタン状に成長する。
- ・グルカン を 43.4% 含んでおり、茸類の中でも突出している。
- ・ハナビラタケに含まれるグルカンは - 1,3D - グルカンであり、抗がん活性が強い。
- ・サラダなどの食材としても、美味で独特な歯ごたえがある。

・ハナビラタケ栽培プラントの概要

1. 所在地 愛知県豊橋事業所内
愛知県豊橋市曙町松並 1 0 1
 2. 面積 約 1,000 平方メートル
 3. 生産能力 40 トン / 年
 4. 設備投資額 約 1 億円
- * 本プラントは第 1 期プラントであり今後拡張する予定です。

・販売計画

- 初年度 (2003 年度) 5 億円
5 年後 (2007 年度) 50 億円

ご参考

1. 健康食品「白幻鳳凰」概要

- 商品名 : 白幻鳳凰^{びやくげんほうおう}
商品形態 : ハナビラタケ顆粒 (スティック包装)
価格 : 1 箱 32,000 円 (税別)
内容量 : 1.9 g × 30 包入り (1 包あたりハナビラタケ成分 1,500mg)
販売方法 : 通信販売
フリーダイヤル 0120-870-605 (お申込み・お問合せ)
0120-870-100 (お客様相談窓口)

[なお、ユニチカホームページもご参照ください]

<http://www.unitika.co.jp/hanabiratake/>

〔参考データ〕

前回発表

初年度（平成15年度） 5億円（生鮮含む全体）

5年後（平成20年度） 50億円（ " ）

1．健康食品市場

2002年度 1兆300億円（前年比 +4.4%）

2001年度 9,870億円（ " +21.9%）

2000年度 8,100億円（ " +8.0%）

（出典「食品と開発」以下同）

2．販売チャネル別(2002年度ベース)

ディスカウントチャネル 7,300億円（70.9%）

薬系チャネル 1,850億円（18.0%）

専門店・百貨店チャネル 1,150億円（11.1%）